

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2002-504325(P2002-504325A)

【公表日】平成14年2月12日(2002.2.12)

【出願番号】特願2000-532511(P2000-532511)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月17日(2006.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ポリペプチドS T A T 1とU S F 1の間の結合を阻害する能力を候補化合物がもっているか否かを決定するための方法において、以下の工程：

(a) ポリペプチドU S F 1に結合する特性を呈するポリペプチドS T A T 1の全部又は一部分を提供する工程、

(b) ポリペプチドS T A T 1に結合する特性を呈するポリペプチドU S F 1の全て又は一部分を提供する工程、

(c) ポリペプチドS T A T 1とU S F 1の間の結合を可能にする条件で該1つの候補化合物と(a)及び(b)に定義されるような該ポリペプチドを接触させる工程、

(d) ポリペプチドS T A T 1とU S F 1の間の結合を測定する工程、及び

(e) 該候補化合物が存在しない状態で同じ実験条件下で観察されるポリペプチドS T A T 1とU S F 1の間の結合の測定値と該測定値を比較する工程、
を含んで成り、結合の減少から、該候補化合物がポリペプチドS T A T 1とU S F 1の間の結合を阻害する能力を有するという結論を下すことが可能となる方法。

【請求項2】 工程(d)が、S T A T 1、U S F 1並びにG A Sエレメント(5'-T T C T G A T A A A-3')及びEボックス(5'-C A C G T G-3')を含む2本鎖核酸配列を含んで成る複合体の形成を測定する工程で構成されていることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 工程(d)が、1つのポリペプチドの全部又は一部分をコードする核酸配列の発現を測定する工程で構成され、この発現が、G A Sエレメント(5'-T T C T G A T A A A-3')及びEボックス(5'-C A C G T G-3')を含むプロモーター配列又はその相補的配列の制御下に置かれることを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 該2本鎖核酸配列又は該プロモーター配列がそれぞれ、プロモーターI V (配列番号1)又はその相補的配列の全て又は一部分を含むことを特徴とする、請求

項 2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 5】 該ポリペプチドがポリペプチド C I I T A（配列番号 2）である、請求項 3 又は 4 に記載の方法。

【請求項 6】 該ポリペプチドが、ウサギ β -グロビンポリペプチド、ルシフェラーゼ又は β -ラクタマーゼであることを特徴とする、請求項 3 又は 4 に記載の方法。

【請求項 7】 該核酸配列の発現が、サイトカイン好ましくは γ -インターフェロンによる該発現の誘発を可能にする条件下で測定されることを特徴とする、請求項 3～6 に記載の方法。

【請求項 8】 G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれたポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配列の発現を阻害する能力を候補化合物が有するか否かを決定するための方法において、以下の工程：

（a） タンパク質 U S F 1 及び G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）上に結合する特性を呈するポリペプチド S T A T 1 の全て又は一部分を提供する工程、

（b） タンパク質 S T A T 1 及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）に結合する特性を呈するポリペプチド U S F 1 の全て又は一部分を提供する工程、

（c） その発現が G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれているポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配列を提供する工程、

（d） （a）及び（b）に定義されているような該ポリペプチド、（c）で定義されている該核酸配列及び該候補化合物を接触させる工程、

（e） 該核酸配列の発現を測定する工程、及び

（f） 同じ実験条件、特に該候補化合物の不存在下での発現の活性化条件で観察された該核酸配列の発現の測定値と該測定値を比較する工程、

を含んで成り、該発現の減少から、該候補化合物が、G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれたポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配列の発現を阻害する能力を有するという結論を下すことを可能とする方法。

【請求項 9】 G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれたポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配列の発現のサイトカイン好ましくは γ -インターフェロンによる活性化を阻害する能力を候補化合物が有するか否かを決定するための方法において、

（a） 天然及び機能性のポリペプチド S T A T 1 及び U S F 1 を発現する細胞系統を提供する工程、

（b） G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれたポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配列を少なくとも 1 つ含む発現ベクターを用いて、該細胞系統をトランスフェクションに付す工程、

（c） 該 1 つの候補化合物と該細胞を接触させるか又は、サイトカイン、好ましくは、 γ -インターフェロンによる核酸配列の発現の活性化を可能にする条件下で、該細胞の内部で該化合物の発現を可能にする発現ベクターを用いて細胞をトランスフェクションに付す工程、

（d） 該核酸配列の発現を測定する工程、及び

（e） 同じ実験条件、特に該候補化合物の不存在下での発現の活性化条件で観察された該核酸配列の発現の測定値と前記測定値を比較する工程、

を含んで成り、該発現の減少から、該候補化合物が、G A S エlement（5'-T T C T G A T A A A-3'）及び E ボックス（5'-C A C G T G-3'）を含むプロモーターの全て又は一部分の制御下に置かれたポリペプチドの全て又は一部分をコードする核酸配

列の発現の、サイトカイン、好ましくは、 γ -インターフェロンによる活性化を阻害する能力を有するという結論を下すことを可能とする方法。

【請求項10】 細胞系統が、Me 67.8系統であることを特徴とする、請求項9に記載の方法。

【請求項11】 該核酸配列が、ポリペプチドCIITA（配列番号2）の全て又は一部分をコードすることを特徴とする、請求項8～10に記載の方法。

【請求項12】 該核酸配列が、リポーター遺伝子の全て又は一部分、より特定的是、ウサギ β -グロビン、ルシフェラーゼ又は β -ラクタマーゼの全て又は一部分をコードすることを特徴とする、請求項8～10に記載の方法。

【請求項13】 GASエレメント（5'-TTCTGATAAA-3'）及びEボックス（5'-CACGTG-3'）を含む該プロモーターがプロモーターIV（配列番号1）であることを特徴とする、請求項8～10に記載の方法。

【請求項14】 該核酸配列の発現が、該核酸配列から発現された特異的メッセンジャーRNAの測定により測定されることを特徴とする、請求項8～13に記載の方法。

【請求項15】 該核酸配列の発現が、発現されたポリペプチドの測定により測定されることを特徴とする、請求項8～13に記載の方法。